

JAMCA

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association


No.12
 1997年1月1日

 発行 全国自動車整備専門学校協会
 協会事務局 〒160 東京都新宿区大京町31
 ヴィップ新宿御苑 ☎03-3356-7066
 編集事務局 〒125 東京都葛飾区西亀有3-28-3
 ☎03-3601-2535 FAX03-3601-2988

21世紀に通用する技術教育

 全国自動車整備専門学校協会理事・相談役
 学校法人 佐藤栄学園理事長 **佐藤 栄太郎**

モータリゼーションの幕開け

日本の国土が廃墟と化した中の昭和20年、産業・経済の復興に遅しく立ち上がりました。乗用車の生産は22年年間300万台が認められ、その後、国民待望の生産制限の解除、量産工場の導入が行われました。さらに国産化へ移行し、高性能車が続々と誕生、本格的モータリゼーションを迎えようとしておりました。自動車行政においては26年、自動車整備士技能検定制度が定められ、自動車整備士の重要性が認識されました。

「技術は心」の信念のもとに

本学園の開祖・佐藤由江先生は、こうした動向よりも早い昭和20年、それも戦争が終わる前に、技術教育にこそ日本の将来があると確信し、「人は生きた資本資産なり」という理念のもと、「技の道」「人の道」を学ぶ、大宮自動車教習所を開設しました。さらに34年に埼玉自動車整備技術学校を設立し、「技術は心」という信念のもとに多くの優れた整備士の養成に努めてまいりました。それが今日の本学園の母体となったのです。

学理と技術の不離一体の教育

本学園はそれ以来、「徳・技・知を



一体とする教育」を特色として、学理と技術の不離一体の教育を推進し、師弟同行の実学教育を実践する校風を築いてきました。

2代校長の佐藤栄三郎先生もこの教育哲学を受け継ぐとともに、科学技術革新に伴う時代の変化と社会のニーズに応えるため、高校卒業後2年課程による2級整備士の養成に尽力しました。

新分野への挑戦

41年には、自動車技術と自動車公害問題に関する新しい分野を研究するため、専攻科の設置に努力し運輸大臣より認可されました。先生は、「技術の信条は研究と研鑽の心である」という確固たる信念を持ち、「技術は誠実であれ」を実習訓として教育に情熱を傾けました。

建学の精神の継承、その具現化

私は両先生の若人の未来に賭ける

教育の志を継承し、新たなる理想のもとに昭和45年1月27日、本学園の「建学の精神と教育使命」を制定しました。建学の精神を具現化するために学園の法人化を進め46年認可され、現在4年制大学から中学校までの総合学園として歩んでおります。

地域社会との接点も視野に

本学園では多様化した価値観と様々なニーズに応えるため、建学の精神のもと技術者養成の新しいシステムをつくり、エンジニアとしての技術の習得はもとより、車体工学・デザイン工学など多岐にわたる展開、実践をしております。また高齢化・少子化も考慮し、社会との接点を考え地域に開かれた学園を目指し、公開講座を開講しております。

21世紀に欠かせない視点

今日、国際社会は急速な拡大と変化の流れの中にあります。そして人
 (2頁左上段へ続く)

CONTENTS

- 2面 OPINION
- 3面 北から南から
- 4・5面 特集・新春座談会
- 6面 協会トピックス
- 7面 話題・地区通信
- 8面 私の教授法・編集後記